

令和5年度 学童クラブ事業年間活動報告書

京都市向島南児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1) エコとクリーンの日	11	177	183	73	15	10	4	5	0	0	0	0	0	467	主に月中旬に日を設定して、エコロジーと整理整頓、清潔についての意識を他県る取り組みをしてきた。身近な省エネについての意識を高める指導と全員による大掃除に取り組んできた。	
(2) 誕生会	12	210	206	105	28	17	8	8	0	0	0	0	0	582	毎月月末に その月に誕生日を迎えた児童の誕生会を実施している。全員でケーキをいただきお祝いをし、該当児童は、自分の抱負と将来の夢などを発表している。児童館からは、写真入りバースデイカードとお祝いプレゼントをしている。5類移行以降お祝い内容を分けることなく全体で行う事ができるようになった。	
(2) みんな遊び	12	201	183	97	12	6	1	4	7	0	0	0	0	511	3年生以上で構成されるあそび会議で考えられた集団遊びプログラムをもとに、1年生から自由来館児童を含め異年齢で取り組んでいる。	
(2) 遊び会議 (3年生以上)	12	0	0	84	15	9	4	2	0	0	0	0	0	114	3年生以上の上級生に参加してもらい、次月の「みんな遊び」の内容を検討・決定してもらった児童主体のプログラム検討会議を実施している。	
(2) エンジョイプロジェクト2024 (5プログラム)	1	87	75	16	29	17	6	57	0	4	0	4	84	379	夏季期間のいくつかの取組をトータルに関連付けて楽しむためのプログラムとして今年度は計画。最終に 児童館まつり (昨年はAutumn Fesとして実施)をクライマックスに持ってくる形で計画実施する。	
(2) けん玉検定 (もしかめ検定、発表会含)	18	76	67	26	8	6	0	2	5	1	0	0	0	191	けん玉遊びに挑戦する事によって、伝統的な遊びの継承と チャレンジする心の養成、成就感を得る体験ができるように実施。またそのために級位制、回数の記録挑戦等が取り組みできるように工夫している。また発表の場を設けるなどモチベーションをあげる機会も設けている。	
(2) 伏見子どもまつり (藤森神社)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	コロナ禍の影響で 一堂に会して実施できなかった伏見の子どもまつり。今年度は 初めて藤森神社境内で実施することができた。ただ まつり運営と館運営の体制の関連で引率が困難であったので 館内で積極的に案内・広報するにとどめた。
(2) 百人一首クラブ・京都府大会	47	79	101	41	2	0	0	49	8	16	0	0	1	297	五色百人一首を使って百人一首に興味関心をもたせる取り組みをしている。その中で 百人一首という文化を楽しむと共に かるた取りの形式を行いながら、成就感、チャレンジ精神の涵養をはかる。京都府大会参加は昨年同様家庭への案内にとどまる。今後コロナ禍以前のように近隣児童館との交流を回復させたい。	
(2) 書道教室	12	33	31	10	0	3	0	2	0	0	0	0	0	79	書道教室は毎月1回「書の面白さ」を伝える機会として実施している。書初めをはじめ、長半紙を使ったり、先生のお手本だけでなく、「書いてみたい字にトライ」したり、「自分の名前を書いてみる」等講師の先生の工夫で楽しんで書く機会となっている。	
(1) 作って食べようクッキング教室	6	39	38	31	9	6	2	25	3	4	0	0	0	157	5類移行以降、徐々にクッキング内容、形式を検討しながら クッキングの取組を増やしていった。コロナ関係で長く実践しなかったこともあり、簡単な取組から導入し、 以前のようにグループ単位で別れてグループ単位でクッキングを行い、一緒に食べる形式に戻していくことができた。	
(2) 作って遊ぼうクラフト教室	24	109	104	48	7	7	2	2	3	10	4	0	0	296	毎回 題材・素材を用意して 簡単な手作りおもちゃや工作に取り組んでいる。「簡単な道具や廃材等を使って その後遊べる」ものを作っている。	
(3) 入部式・修了式	各1	34	30	18	10	7	3	0	1	0	0	0	0	103	令和5年度4月1日は土曜日で 利用家庭が少ないので、4月3日月曜日に入部式をお行う。修了式はこれも土曜日を外して3月29日金曜日に実施する。入部式は主に継続児童と新入部生、職員及び法人理事長をお迎えして実施している。双方の顔合わせ的な意義を持たせ仰々しくならないように実施している。	
(3) お楽しみ遠足 (3/26京都水族館)	1	18	20	6	3	3	0	5	3	1	0	1	0	60	従来は「お別れ遠足」としていたが、学校やその他組織のように単純に終わりと「お楽しみ」にはならず、自由来館等で今後も行う事もできることから 「お別れ」でなく、「お楽しみ」という位置付けに変更して実施。今年度は 公共交通機関を利用して京都水族館へ行った。	
(2) 将棋クラブ・教室 (Web交流会含む)	48	115	73	37	5	11	6	34	4	0	0	0	3	288	毎月およそ4回将棋クラブを実施。うち2回は「将棋教室」として 将棋連盟より講師を招いて指導に当たってもらっている。またオンライン交流に始まった淀児童館将棋クラブは、今年度対面交流が実現。児童にとって より対戦相手の実感の伴った取り組みになった。今後もこの形で継続していく。	
(2) ボードゲームを楽しむ会	6	39	40	11	6	6	2	0	4	0	0	0	0	108	中高生対象から始まった取り組みだが、学童クラブの中でもボードゲームを通して交流していく事の大事さから混合した形で実施している。2人でできるゲームから協力して課題をこなす形のゲームまで幅広いゲームを取り組む機会を設けている。基本は月2回土曜日に実施している。	
(2) 学童クリスマス会	1	18	21	7	3	2	2	7	5	4	0	4	0	73	例年の季節行事でお楽しみの企画として実施。児童が自分たちで演し物を計画し、練習して発表するコーナー等司会進行役等も含めて自主的な取組につ。スペースが狭い事もあって 保護者に参加してもらう事が困難だが、希望する保護者には見学可にしている。	
(2) Webあそび交流会	4	34	27	13	1	1	0	0	0	0	0	0	0	76	コロナ禍での取り組みの一つとして近隣の淀児童館とインターネットを通しての交流を「将棋」「あそび」とテーマを分けて交流した。(将棋交流は「将棋教室」の一環として)	
															例年「今日の匠の技を知る!伝統工芸体験」を通して京都の伝統工芸の技法体験を企画して	

(2) 伝統工芸体験「蒔絵」2/17	1	5	1	1	0	1	0	14	4	0	0	0	0	26	いる。令和5年度は「蒔絵」体験を行わずに出来た。この企画には毎年一定人数の参加希望があり、めったにできない体験ができる良い機会になっている。
(2) 防災と安全の日・避難訓練	21	322	311	136	22	19	8	7	2	2	0	0	0	829	「防災と安全の日」と「避難訓練」は、双方毎月1回設定し、交通安全・感染症・台風・火災・水害・不審者対応等テーマを設けて指導し、訓練を実施している。また昨年度課題であった「消火訓練」の記録についても留意して実施してきた。
(3) 文化庁京都移転記念事業「きょうハレの日、」参加	1	17	7	9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	38	文化庁京都移転記念事業として行われたイベントに参加。イベントのイメージはなかなかつかみにくかったようだが、取り組み自体は楽しかった様子である。また作られた作品展示は夜間用の物だったので引率とはいかなかったが 保護者に案内し、行かれたご家庭には好評だった。
(3) 未来の巨匠おえかき・ぬりえ作品展（郵便局主催企画）	1	6	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	館がお世話になっている向島郵便巨匠から声がかかり、夏季期間の一つのお楽しみとして参加する。局長賞等をいただき 参加したご家庭にも好評だった。地元郵便局とはキャンセルライト企画等にも参加してきているので今後も関係を継続していきたい。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること